



いじら北っ子

山県市立伊自良北小学校
令和8年1月23日 第11号
〒501-2132 山県市掛217

<https://www.city.yamagata.gifu.jp/site/ijira-kitasyo/>

もうすぐ2月、4月までに…

1月は生活や学習のリズムを整え、いよいよ今年度のゴールを意識する時期になりました。冬休みにご協力いただいた学校評価アンケートの結果から、伊自良北小学校の強みと弱さが見えてきました。地域で「元気な挨拶ができている」と自信をもって言えるのは、学校だけじゃなく、どんな場でも自分を表現できる逞しさ。これは本校の3本柱の一つです。1番の課題は「書くこと」を通して、粘り強く(じっくりと)学習に向かう姿勢でしょうか。その他の項目についても伊自良北らしさを伸ばし、苦手を克服していける指導・支援に努めていきます。

項目①～⑩の結果 (■よい・できる ■ややよい・ややできる ■あまりよくない・あまりできない ■よくない・できない)



	項目	12月	8月		項目	12月	8月
1	学校教育の説明 丁寧な説明へ 評価2微減			12	学習理解 学習 評価4微増		
2	元気に登校 評価3, 4へ 評価1は減も			13	地域に進んで挨拶 方針の柱として◎		
3	児童理解 保護者から肯定的			14	目標をもち努力 保護者と乖離 もっと発信へ！		
4	認め励まし 赤ペン先生 すてきな木			15	生活指導		
5	いじめ防止			16	基本的な生活リズム		
6	家庭の役割			17	安全教育		
7	ICT 活用			18	進んで運動		
8	家庭学習の習慣 学習 ほぼ変化なし			19	特色ある活動 十六拍子 銀杏活動		
9	自分の考えと伝える力			20	よさの実感 評価3, 4へ 児童微減も保護者肯定		
10	課題追究力 学習 比べて考える力苦手			21	情報発信 丁寧な説明へ HPの発信		
11	文字の丁寧さ すてきなノート 二極化 評価1が微減			22	誠実な対応 さらに信頼される学校へ		

記述の項目(趣旨が変わらない程度に文章表現を変えています。)

<山県学園構想について>

- 合同授業は南小の友達と会えるから楽しいようだ。運動会は人数が少なすぎる所以合同で行うより盛り上がると思う。合同だと練習が大変になるが。
- 合同授業はいろんな子と話せるから楽しいとよく言っている。
- 運動会は人数が少なすぎるため合同で行うともっと盛り上がると思う。(2名)
- 発表会なども合同でよいかと思うが、別々の学校である意味がなくなると言えそう。

- ・ 児童が減少しているから早く小中一貫校のような学校になればいいと思う。
- ・ 「合同授業をなぜするのか」を子どもが理解できず納得がいかないようだ。その意義を大人だけでなく、子どもたちと共有してほしい。
- ・ 山県市構想という考えは素敵だが、もう少し現実的に今後の児童数の推移を把握し、ギリギリまで粘るのではなく、子ども達が切磋琢磨し合える環境を作ることも大切と感じる。
- ・ 合同授業は授業内容にもよるが、どちらかというとあまり楽しんでいる様子はない。このまま中学で一緒にになり大丈夫かと不安がある。毎日活動しているわけではないので、機会がないと南小の子と話さず終わることが多いとのこと。(関係も)ぎこちない状態だと言っていた。

南小との合同授業では、お子様の学習の実態によって意見が分かれるところだと思われます。貴重な時間を割いて実現している学習では、お子様一人一人が確かな学力として身に付けることや「誰とでも、どんな場でも」学びに向かう姿勢を發揮できるよう根気よく指導していくようにします。

<その他について>

- ・ 少人数の学校なので、全職員で子供たちをみてもらえているのが伝わりありがたい。
- ・ 宿題ですが、今年は「ケドカド各1回、あとは自主勉強で2回目をやりたい子だけやる」となっていますが、2回までは宿題として出してもらえると助かる。日記は夏休みだけでいい。
- ・ 下校時間が早いとき(4時間授業)は、なるべく早く教えてもらえると助かります。

各学年や全校にかかる学校運営上の問題について、今年度も様々な御意見をいただきました。学校の方針と運営は保護者の皆様や地域とともに進められるものだと考えています。今回のように気づかれたことに御指摘をいただけたことは大変ありがとうございます。少人数の学校だからこそ、これからも地域や保護者の声に耳を傾け、ときには議論を重ね、お子様のさらなる成長と一緒に見守っていければ幸いです。

<資源回収>

回収場所については、16名の意見が地域と学校で半々(各8)に分かれました。一括にするメリットやデメリットはそれもある中で、協力していただく地域の方々の実情についても考慮していかなければなりません。自治体との連携や地域アンケートを踏まえ、来年度以降の資源回収の在り方を考えていきたいです。

地区ごとの回収

- ・お年寄りが多いため、収集場所近いと出しやすい。
- ・学校までが面倒で近隣の回収ボックスを利用され量が減る。
- ・人手が足りている地区は先生は不要である。
- ・地域に協力なら従来通りで気楽に行える
- ・委員として現場に30分当番は負担ではない。
- ・学校回収で地区委員の役割があれば負担は同じこと。

検討

回収場所までの資源の搬送方法の実態把握

学校へ持ち込みができないときの対応

学校ごとの回収

- ・車での収集が多いように思えたので、学校でもよい。(役員負担減)
- ・車で来られる方がほとんど。学校なっても問題ない。
- ・役員の役割がないなら負担は減る。
- ・長瀧地区は児童がおらず、役員と学校職員が対応している。
- ・前日の作業を考えると学校一括がよい。

アンケートの御協力ありがとうございました。